

河川における樹木伐採の取組について

1 要旨・目的

地域の安全確保や景観維持のため、河川における樹木伐採に関する計画の策定に向けて、これまでの取組に加え、地域ニーズを踏まえた樹木伐採の取組を試行する。

2 現状・背景

河川の樹木伐採については、「河川内の堆積土等除去計画 2021」に基づき、堆積土の除去と併せて計画的に実施しているところである。また、除草については、堤防点検等のため一部区間において定期的を実施するとともに、地域住民等による自発的な活動が行われており、その活動を支援するために、アダプト制度等の拡充にも取り組んできたところである。

一方で、樹木伐採等については地域から様々な要望をいただいております、中山間地域の人口減少・高齢化等といった社会環境の変化も踏まえ、取組を強化する必要がある。

3 概要

(1) 対象者

県民（主に河川の周辺）

(2) 事業内容（実施内容）

ア これまでの取組に加えて、地域の安全確保や景観維持の観点から除草より効果が大きく、地域住民等の自発的な活動では対応困難な樹木伐採を強化して実施する。

イ 実施に当たっては、限られた財源の中で効果的な取組となるよう、地域の実情を踏まえて、対象箇所を選定する。

ウ 必要に応じて、市町や道路管理者などの管理主体、自治会やアダプト活動団体等の各種関係団体と調整を図りながら取り組む。

これまでの取組（継続実施）		樹木伐採の強化（試行）	
除 草	目的：堤防点検等 場所：堤防の一部区間 頻度：年1回	伐 木	地域の安全確保や景観維持等に対する効果が大きい箇所から順次伐採 [強化の視点] ① 流下能力・施設機能の維持 ② 通行への安全確保 ③ 市街地環境の保全 ④ 快適な河川利用 ⑤ 周辺景観の保全 ⑥ 隣地への越境、侵入
	目的：流下能力の維持 場所：土砂堆積、樹木繁茂箇所 頻度：計画的に順次		
伐 木	目的：施設機能の維持 場所：根等による施設損傷箇所 頻度：随時		

(3) スケジュール

令和6年度 取組の試行・検証

令和7年度 取組の試行・検証、計画策定

(4) 予算（単県）

令和6年度 1,725百万円※（うち 樹木伐採の強化 75百万円）

※堆積土除去費を含む

(5) 今後の対応

取組を試行する中で、実施コストや箇所選定の考え方等について検証し、計画策定に繋げる。

4 その他（試行箇所の例）

